

よした 議会だより

第111号

令和5年10月発行

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
吉田町議会
責任者 議長 大石 巖

令和4年度一般会計決算	2P
令和4年度特別会計・企業会計決算	5P
令和5年度一般会計補正予算	7P
一般質問 6人が町政を問う	8P
常任委員会報告	14P
議会目標・議会報告会ご案内	15P

住吉神社夏季例大祭森下組山車

令和4年度一般会計決算を 全員一致で認定

一般会計決算

歳入総額：	140億1,896万円
	(前年度134億3,770万円 4.3%増)
歳出総額：	129億3,325万円
	(前年度122億3,920万円 5.7%増)
歳入歳出差引額：	10億8,570万円
	(前年度 11億9,849万円)

歳入

令和4年度一般会計決算

歳出

問 町民税、固定資産税の収納率について、個人

町民税収納率98.5%、固定資産税99.5%と例年同じような割合である。固定資産税が1%ほど高い理由は、

答 固定資産税は、対象者が毎年ほぼ変わらないが、個人町民税は、退職などにより、人の変動があるためである。

問 収納方法で、個人町民

税の口座振替利用率が、32%、固定資産税は、63%である。口座振替を増やせば、もっと収納率が上がると考える。いかがか。

答 納税通知書と口座振替の案内を同封し告知している。また、コンビニ収納やスマートフォンアプリ収納が増加している現状である。

問 国庫補助金の外国人

受入環境整備交付金について、交付金は、423万7307円であり、歳出では、6万2320円を充てており、残りの額は、人件費に充てている。人件費については、どこからの歳入をどこに充てたか資料記載がないためわからない。今後、交付金から人件費へ充てる額がわかる記載を求める。

答 この人件費は、会計

年度職員で、通訳二分である。国・県の交付金などにより人件費に充てた事業は、20事業ある。令和元年までは、臨時職員手当として記載があったが、令和2年度以降は会計年度職員となり事業化され記載がなくなった。今後、資料への記載を検討する。

【総務費】

問 生活交通確保事業の

地域間幹線系統確保維持費補助金について、平成30年から令和4年までに金額が10倍に増加している理由は、

答 この補助金は、赤字路線に対し穴埋めするものである。吉田町、牧之原市、島田市、藤枝市と走行距離で案分して支払っている。増

加理由は、コロナ禍の影響、人件費、燃料費の上昇が、あげられる。

問 市町分の増加は、バス会社からの要求があるのか。

答 補助金額は、経費や収入による査定を行い一定の計算式から算出しており、必要な経費として出している。特別な要求はない。

令和4年度の主な事業



令和4年度開設された小規模保育施設



Wi-Fi環境のあるバス待合所

- ◎小規模保育施設整備事業費補助金……………13,627万円
0～2歳児を預かる民間施設整備に対する補助
- ◎情報化推進費……………8,219万円
事務処理および行政サービスの効率化など
- ◎生活排水改善対策事業費……………6,157万円
合併浄化槽への転換に対して補助
- ◎生活交通確保対策費……………2,847万円
バス待合所兼観光情報発信拠点の設置など
- ◎治水対策推進事業費……………2,421万円
坂口谷川や湯日川流域における浸水被害軽減を図る調査など

問 ユニバーサルデザイン推進費について、町は、高齢者対策などとしてのユニバーサルデザインの理念は。

答 バリアフリーや照明のLED化などを行っており、民間に対しても補助金などで対応できるものはしている。また、町民に対してユニバーサルデザインとは何かを広報誌などで周知している。

問 バス交通活性化対策事業補助金について、バス待合所兼観光情報発信拠点を設置した経緯は。

答 バス待合所設置として当初予算にも計上していたが、待合所だけでなく観光情報も発信できる場としての活用を考え、吉田町観光協会からの申請により補助金を出し設置した。

問 ユニバーサルデザイン推進費が必要と考える。いかがか。

答 販わい創出の補助金制度がある。イベントだけでなく商品開発などにも使える補助金もあるので活用してもらいたい。

問 【民生費】高齢者社会参加推進事業費について、町さわやかクラブの会員数が、減少してきている。この減少を町はどう考えているか。

答 また、さわやかクラブの活性化のために補助金の増額はできないか。

問 【民生費】会員の高齢化と新規加入者が少ない現状であることは承知している。さわやかクラブと共通認識をもって課題について協力していく。クラブの計画により補助金を出している。協力できるものであれば補助していく。

問 【衛生費】生活排水改善対策事業費の浄化槽設置費補助金について、個別の現状をみると施工金額と大きな差がある工事がある。補助金を上げることができないか。

答 補助金上限額は、環境省が、本体価格や工事費の実態調査を行い、これに従って算出している。個別の敷地面積などの事情に沿った補助は行わない。

問 感染症予防費の風しん予防接種費助成金について、クーポン券発行により実施率は増加したのか。

答 また、国が求める目標数に対し、町の現状は。

問 クーポン券は、これまでの積み上げで2708人に発行している。4年度は追加的接種対象者に発行しているの増加している。

答 国の目標は抗体保有率85%であり、当町は、おおむねクリアしてきていると考える。

問 地域交流費について、カムカム補助金は、大規模イベントに使えるのだが、小規模イベントなどに使えない。

答 地域交流費については、大規模イベントに使えるのだが、小規模イベントなどに使えない。

【労働費】

問 榛南建築高等職業訓練校を、もつと町民に利用してもらえようにするための周知方法は。

答 小山城まつりと公報よしだでPRしている。今後、その他の方法も検討していく。

【農林水産業費】

問 漁港に入ってくる流木・水草・ゴミなど、港内の清掃に関し、町がもつとできる事があるのではないか、また補助金の予算も増額できないか。

答 川から流れてくるものについては、漁港区域内なので、補助の対象であるが、漁港区域外の漁場で網に引っ掛かり除去するものについては、補助金が無いので、他の自治体はどうしているのかなどを調査している。何かしらの対策を、漁業者と話しをしながら検討し進めていく。

問 漁港の津波対策についての進捗状況と、その経過報告方法は。

答 漁港の施設の問題などを含めてロードマップを作成、検討し、町政連絡会などで報告していく。

【商工費】

問 多くの方が訪れる小山城公園の樹木管理が、できていない所があるが、予算が足りていないからなのか。

答 予算内で効果的に進めていく。予算については、財政局と協議していく。

標と、来場者を増やすための対策は。

答 来場者の目標は1.5万人。子どもたちの課外授業などの利用を促すように、学校教育課とも連携していく。

問 小山城公園の男坂(階段)がとても危険だと思われるが、その対策は。

答 令和2年度に、業務委託で男坂・女坂の手摺りの設置を検討したが、土壌の問題があり、まずは女坂に設置した経緯がある。今後は、安全対策を検討して、良い小山城公園を作っていく。

【土木費】

問 TOUKA100の事業で、非常に木造建築の耐震化が促進されたと思うが、令和7年度でこの事業が終了してしまう。その後の対策は。

答 県の動向や近隣市町の考えなどを確認しているが、令和8年度以降については、まだ分



問 小山城の来場者数は、年間1.3〜1.4万人であるが、来場者数の目

からない。ただ当町では、木造住宅の耐震事業はまだ必要だと考えているので、引き続き何かしらの形を検討していきたい。

問 住民の防災意識向上のために、自主防災会において防災出前講座を開催できないか。

答 地域防災の要になるのは各自自主防災会と考えている。県とも連携して、さまざまな取り組みをしているが、今後も継続して、新たな手法を取り入れながら取り組んでいく。



【消防費】

問 小中学校体育館のWi-Fi設備の設置と稼働状況は。また日常的に使用できるようにはできないか。

答 普段は体育館のオンライン授業で使用している。災害時には専用キーを使用し、災害モードに切り替える事で、無料開放の公衆無線LANになる。ただこれは、災害時に限定して使用できるシステムなので、通常使用できるネットワークではない。

問 学校の防災意識向上のために、自主防災会において防災出前講座を開催できないか。

答 地域防災の要になるのは各自自主防災会と考えている。県とも連携して、さまざまな取り組みをしているが、今後も継続して、新たな手法を取り入れながら取り組んでいく。

【教育費】

問 学校図書購入の際、学校司書が選書をするにあたり、どういう選び方をしているのか。予算は足りているのか。

答 一般的に読まれるものという観点では無く、学校の授業に関係する物などを、専門の先生とも協議をして選書している。予算はあればある程度良いが、限りはある。昨年度は200万円の寄付があり、潤沢な予算となり、学校図書が、とても充実した。

問 体育協会などの補助金を、令和2年度・3

年度と、コロナ禍で先行き不透明という事で10%カットしたが、コロナ前に戻すことはできないか。

答 それぞれの活動に必要な予算をつけていると考えている。無条件で元に戻すことはしていない。財政状況、事業計画、必要性などを勘案して、予算編成をしている。

問 高島グラウンドは、草が生えていて、管理が行き届いていないと言えない。予算的な問題があるのか、常に綺麗な環境にして欲しい。今の維持管理・整備の状況は。

答 シルバー人材センターに委託管理をお願いし、令和3年度から4年度に予算も増額している。毎週1回、施設管理として現地を見廻りし、シルバーとも協議しながら管理している。利用者にも協力いただいて、使いやすいく。

特別会計決算

特別会計名	歳入	歳出	差引残額
土地取得事業	20,108円	18,000円	2,108円
国民健康保険事業	27億4,044万円	26億9,544万円	4,499万円
後期高齢者医療事業	3億2,002万円	3億1,935万円	66万円
介護保険事業	22億0,328万円	21億1,236万円	9,092万円

企業会計決算（万円）

企業会計名		収入	支出
水道事業	収益的収入 および支出	63,050	49,815
	資本的収入 および支出	9,242	39,953 ^{※1}
公共下水道事業	収益的収入 および支出	66,300	65,115
	資本的収入 および支出	74,316	76,359 ^{※2}

※1 不足額の30,711万円は、
減債積立金 6,000万円
建設改良積立金 5,500万円
過年度分消費税資本的収支調整額 1,921万円
過年度分損益勘定留保資金 12,054万円
当年度分損益勘定留保資金 5,235万円
で補填した。

※2 不足額の2,042万円は、
引継金 1,843万円
3条企業債の借入額 199万円
で補填した。

令和4年度 特別会計・企業会計決算

介護保険事業特別会計 決算質疑

問 平成30年度から令和2年度までは積立金を取り崩していたが、令和3年度からは取り崩し額を上回る積立が出来るようになり良好な運用状況となつている。要因としては保険料値上げ以外にも何かあるのか。

答 介護給付費準備基金積立金は介護保険事業計画に基づき毎年度取り崩しを行い、翌年度積立をしている。令和3年度の介護給付費の実績が計画値と比較して下回ったことから取り崩し額を上回る積立ができた。要因としては新型コロナウイルスの感染症の影響でサービスの利用控えがあったため介護給付費が抑えられた。

介護保険料は3年ごと改定されるが、今の良好な運営状況を配慮して保険料の上昇を抑える事は出来ないか。

答 総人口は減少する、高齢者人口は増加することが見込まれる状況で必要なサービスを届けるために財源が不足しないよう要介護度別の認定者数、サービスの給付額を算出して保険料を見込んでいき、基金の活用を検討しながら保険料の上昇を抑えるように検討していく。



水道事業会計剰余金の処分及び決算質疑

問 老朽管の敷設替えをしているにもかかわらず有収率が前年に比べ0.7%低下している。その要因は。

答 老朽化した管から耐震性能を有した新しい管に敷設替えしたことで今後の漏水を未然に防ぐことが出来たと考える。有収率が前年を下回っているのは、敷設替えをした箇所以外で未確認の漏水が増えている可能性が高いと考えられる。

問 有収率を上げるために年間の老朽管の敷設替えの工事量は増やせないか。

答 建設改良事業では老朽管対策と基幹管路の耐震化を同時並行で行っているので建設費の全てを老朽管対策に廻すことはできない。

公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算質疑

問 下水道使用料対象経費が令和3年度に比べ浄化センターの修繕費と一般管理費の各策定と一般管理費の削減されている。その要因は。

答 計画策定業務については、令和3年度は総合地震対策として、浄化センターに自家発電機を設けるため災害対策業務委託を行ったが、令和4年度は行わなかったために経費削減された。

問 修繕費については、修繕に係る経費が少なかったためである。

問 浄化センター機器の保全は、ストックマネージメントに基づいて整備していると思っていたが、そこから外れた修繕がある。その違いは。

答 ストックマネージメント計画では、機器の劣化・摩耗の状態や耐

用年数から壊れる前に修繕・更新をしていくという予防保全型をやっている。それでも物によっては突然壊れてしまう物があるため、外れたものとして修繕をしている。

問 職員の業務範囲を広げて職員がチェックして計画的に整備・修繕していけば計画委託料を減らすことにならないか。

答 ストックマネージメント計画の策定や診断は専門の知識が必要なので職員では出来ない。

問 専門的知識のある人を職員として採用することは出来ないか。

答 技術力を持った専門職の人を採用したいと思っているが現実的には難しい。

<賛否が分かれた議案>

議案番号	件名	審議結果
第59号	令和4年度吉田町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	原案可決および認定
第65号	令和5年度吉田町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決

<審議結果>

議案番号	大石裕之	増田伸介	盛純一郎	楠元由美子	福世義己	三輪美由紀	平野積	山内均	増田剛士	八木栄	河原崎昇司	蒔田昌代	大石巖
第59号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	※
第65号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	※

○：賛成 ●：反対 ※：法令の定めにより議長に表決権はありません

特別会計・企業会計補正予算

令和5年度吉田町土地取得事業 特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に3,000円追加し、 予算総額15,024千円とする。
令和5年度吉田町国民健康保険事業 特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に3,504万円追加し、 予算総額27億7,630万円とする。
令和5年度吉田町後期高齢者医療事業 特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に66万円追加し、 予算総額3億2,899万円とする。
令和5年度吉田町介護保険事業 特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に9,036万円追加し、 予算総額22億2,930万円とする。
令和5年度吉田町公共下水道事業 会計補正予算(第1号)	下水道事業収益的収入に206万円追加し、 予算総額7億6,685万円とする。

令和5年度吉田町一般会計補正予算(第4号)

歳出歳入にそれぞれ9億6,551万円を追加し、総額139億8,911万円とする。

【主な補正】

歳入	国庫支出金	5,117万円	(新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金)
	繰越金	8億2,685万円	
歳出	衛生費	5,000万円	(地域医療対策事業費)
	商工費	6,591万円	(商工業振興費)
	諸支出金	8億4,561万円	(財政調整基金費)

主な質疑

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金

問 昨年度はさまざまな事業に充てていたが、

本年度は非課税世帯支援特別給付金給付事業とプレミアム付商品券事業の2事業のみに充てることになる。国庫補助金の使途方法に町として方針転換があったのか。

答 今回の交付金は国から使途が限定されており、推奨メニューとして低所得者支援、生活支援、事業者支援が挙げられている。町として優先順位を検討し、生活支援、経済対策の面からプレミアム付商品券事業に決定した。

歳出

【総務費】

ガバメントクラウド運用管理業務委託料

問 ガバメントクラウドとは何か、また町民へのメリットはどのようなものなのか。

答 令和7年度末までに国の定めた標準化・共有化対象の20業務、例えば、児童手当、子ども子育て支援、戸籍の附票や印鑑の証明などの業務を国の示すクラウドに自治体のシステムを移行するものである。町民にとって目に見えた変化は無いが、労働人口減少が予想される将来を見据えて、町民への安定した公共サービスを継続していくために必要なものである。

【商工費】

商工業振興事業費補助金

問 プレミアム付商品券の販売数一世帯上限数を5セットから10セットに変更した。生活者支援および事業者支援をより効果的な方法で実施して欲しいが過去5回分のデータ収集はされているのか。

答 商工会からの過去実績に基づきセット数を決定した。事務手続きの簡素化・合理化にもつながると考えている。現在の方法で問題ないと認識しているが、改善などの要望があれば検討していきたい。

【土木費】

公共下水道費

問 一般財源からの繰出しをできる限り減らすことを目的に下水道料金の値上げを行うことにした。今回の一般会計からの繰出し増はその方向に反するのではないか。

答 今回の補正は、人事異動に伴う人件費増を補うための一般会計からの繰出しで、これが無ければ、赤字転落してしまうので理解して欲しい。

問 過去実績から町としてはセット数を増やしたい。

答 過去実績から町としてはセット数を増やしたい。

question

問

町は人口減少に危機感を持っているか

answer

答

人口減少対策は喫緊の課題である

吉田町の人口は東日本大震災が発生した平成23年8月をピークに年間117人減少している。その内訳は外国人の年間103人増加に対して、日本人は年間220人減少している。そこで、人口減少に対する町の考えを質した。

問 人口変動に関する分析およびその対策は。

答 国勢調査で、平成22年と令和2年を比べると15歳未満の年少人口は15.3%から12.8%に、65歳以上の老年人口は20.5%から25.8%へと変化し、少子高齢化が進んでいる。平成23年と本年3月とでは住吉区は10.3%、川尻区は2.8%の減少である。

「まちづくりに関する住民意識調査」では、「住みにくい」と回答した方のうち「災害が心配」と回答した方が



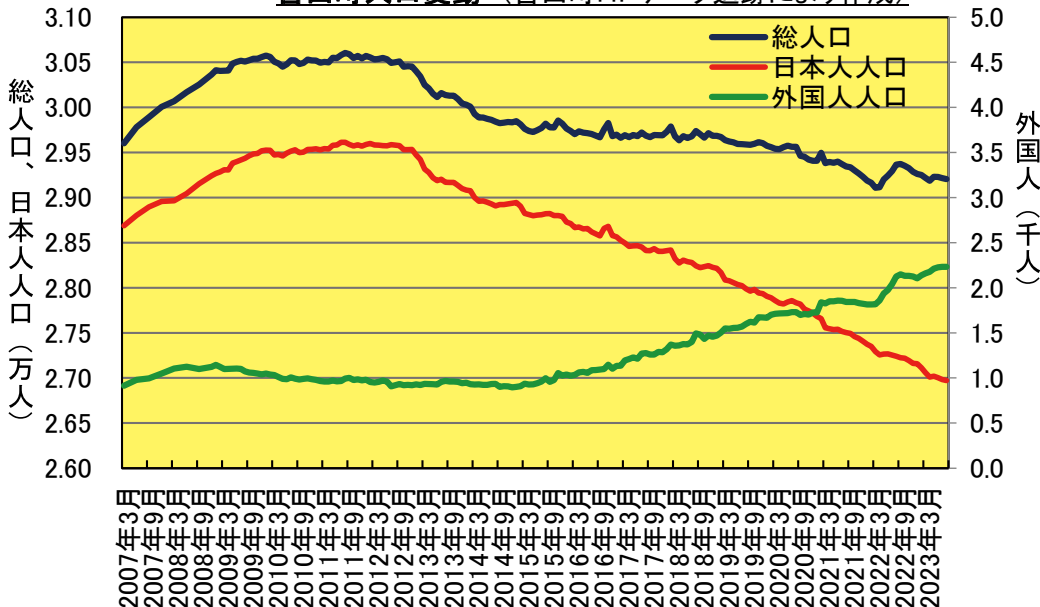
片岡区、北区が30%に對して、住吉区は50%、川尻区は46%になっており、津波災害への不安が、沿岸地域から町外への転出、町内内陸部への転居の要因になっている。
更なる津波災害対策強化で、多様な人々が快適に安心して暮らせるまちづくりを行う。

問 人口増加のために町

答 長から20歳から39歳の女性を増やすとの方針が出されている。そのためには、近隣市町と同様の事を進めていくも難しい。吉田町独自の画期的な施策を打つべきではないか。

答 妊娠・出産などに対して、国からの補助金に当町独自の乗せにより、妊娠から子どもが1歳になる時まで4回に分けて合計20万円の助成を始めた。ただ、そのPR不足の部分はあると思う。

吉田町人口変動 (吉田町HPデータ追跡により作成)



ひらの つもる 議員

町政を問う

question

問

史跡・工芸品・彫刻などの保存・継承は

answer

答

計画を含め教育委員会と協議していく

吉田町の文化財（第7版）が平成27年2月発行された。文化財に新たに指定された物、解除された物がある。一度解除された物は元には戻らない。守ることは使命だが新たな指定も大事である、保存と継承について聞いた。

に指定されている小山城跡の一部となっていることから新たに指定することは考えていない。

問 史跡第1号、家康御陣場跡、史跡第2号、大熊備前の守屋敷跡、史跡第4号、小山城跡（山崎の砦）が選定された背景は。

答 家康御陣場跡は、郷土における武田・徳川の攻防を調べる手がかりとなる歴史上、学術上価値の高い史跡。大熊備前の守屋敷跡は戦国時代の武家の居館（きよかん）跡を調べる上の大切な史跡。小山城跡（山崎の砦）は、武田軍と徳川軍の攻防の拠点が背景である。

問 小山城跡（山崎の砦）の模型が展望台小山城内にある。模型作成の理由は。

答 武田流の築城手法や武田・徳川の攻防を知っていたとき、実際の地形についての理解を深めていただくため。

問 町民が郷土の歴史や文化に愛着を持ち、後世に伝えることができよう、中央公民館などに指定文化財を紹介する模型の掲示や映像により紹介することなどについて検討する。

答 町民が郷土の歴史や文化に愛着を持ち、後世に伝えることができよう、中央公民館などに指定文化財を紹介する模型の掲示や映像により紹介することなどについて検討する。

問 家康御陣場跡、大熊備前の守屋敷跡、小山城跡（山崎の砦）は町の歴史の重要な転換点である。模型を中央公民館などに展示して、町を知る場・機会をつくらないか。

答 三重堀は現存する堀としてはきれいにその形が残されていて非常に貴重であるが、すでに

問 小山城跡（山崎の砦）の西側には三重堀がある。現存する貴重な遺跡である。史跡として登録できないか。

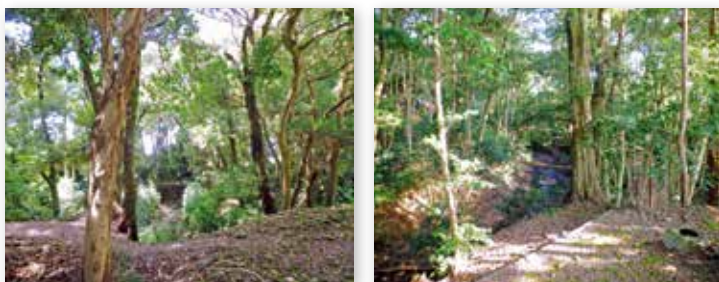
答 三重堀は現存する堀としてはきれいにその形が残されていて非常に貴重であるが、すでに

問 工芸品第17号三番神社所蔵の人形の首、第24号林泉寺の十王像、第20号本寿寺の木彫りの龍などの管理および自然劣化や大地震などからの保護の考えは。

答 管理はそれぞれの所有者などにしていただいているが、今後文化財の保護などについては、予算も含めて、教育委員会と協議していく。



小山城跡模型



小山城跡三重堀



やま うち ひとし 議員
山 内 均

question

問

シーガーデンでの憩いの創出は

answer

答

まず、花の植栽などにより整備する

新たな安全が創出され川尻防潮堤天端部分を利用する方も多くなってきた。今後、多目的広場の整備がさらに進む中、シーガーデンの更なる推進計画はどうか質問した。

問 シーガーデンの将来

像や整備計画、工事の進捗状況などのパネルを現地に掲げる計画はあるのか。

答 防潮堤住吉工区の工事の詳細が国と調整中であり、川尻工区にぎわいの創出は官民連携



芝生エリアやデッキテラスで憩いの場も兼ねた水防センター

問 防潮堤ののり面部分

について国との調整を今後どのように考えるのか。

答 のり面部分の管理者は国になるが、除草については、施設点検に必要な場合に実施するものとされている。現

により具体的な整備も

検討中であるため、パネル設置は現在考えていない。今後、具体的な計画が進んできた段階で完成イメージパネルを掲載したパネルなどの設置を検討する。



リモコン式除草刈り機で一部整備された川尻防潮堤

問 シーガーデン整備の中

に町内児童が関われる取り組みはあるか。

答 児童生徒がシーガーデンの整備に参画することは、郷土愛を育て大変貴重な機会であり積極的に取り組んでいくものと考えている。これまでも、①吉田中学校



議員 楠元由美子

生徒によるシャリリンバイ植栽体験②多目的広場への芝張体験③保育園児による天端道へのお絵描き体験④吉田特別支援学校の生徒による水防センター内に配備する機の制作を実施してきた。

在、のり面部分の草の

管理は十分になされていない状況だが、にぎわいの創出や景観の形成といった観点から、良好な状態が維持できるように役割分担の明確化など、引き続き国と協議を行っていく。



令和5年度から一部供用開始された多目的広場

町政を問う

question

問

多文化共生社会の企業と町の役割りは

answer

答

日本語の習得機会充実に向け取組強化

町内には多くの外国人が暮らし、働いている。生活スタイルや文化の違いから、地域の中でトラブルになる事がある。お互いに信頼し、安心して暮らせる生活環境を築くため、企業の協力や町の役割について質問した。



議員
ゆき ひろ 石 大
おお

問 外国人労働者の生活上の課題や問題を把握しているか。

答 「吉田町多文化共生総合相談窓口」などにおいて日本語が理解できないことに起因し、同じ境遇の方同士でコミュニケーションを固めてしまい、日本語で会話をしなくなり、地域に溶け込めないという問題などがあることを承知している。

町としては、日本語教育の場づくりや、国際交流協会との連携など、生活に必要な最低

限の日本語を身に付ける事ができるよう推進していく。



問 外国人労働者を雇用している事業所や人数などを情報として把握しているか。

答 個別にどの会社が何人との詳細は把握していないが、どういう資格で滞在しているかは把握している。

問 生活の中のトラブルでは、町民が巻き込まれ、被害者になる。その際、外国人がどこに勤務しているかなど、連絡する所が分からず、解決できないでいる。

生活上の事とはいえ、外国人労働者に関しては、技能実習生受入組合だけで無く、雇

用先企業の責任も、また町にも果たせる役割があると考える。
町と企業と技能実習生受入組合が連携し、情報交換をして、お互いがそれぞれの責任を果たしていけるような仕組みを作ること、町民がこれからも増えるであろう外国人と、トラブルも無く、安心して暮らせる環境を作る事ができると考えるが。



答 現在、生活上のルール、例えば「ゴミ出しの方法」などを多言語化して、周知している。その中で課題なのは、コミュニケーションとして、言葉の問題がある。日本語教室で初期段階から教えていこうと体制づくりをしている。

日本語を教える方や通訳のできる方など、実際交流協会や、地域の方に協力いただいで、コミュニケーションを図れるようにしていきたい。そういう中で、企業の協力も必要となるので、協力関係の構築を、今後検討していきたい。

question

問

圏域における福祉や施設の必要性は

answer

答

自立支援推進会議内で取り組んでいく



議員 代 昌 田 まさ とき

町の障害者福祉について、その中で全面的な介護を必要とする重症心身障害児者についてと、津波防災まちづくりにおける防災対策の取組として大幡川幹線の道路改良事業について質問した。

町の障害者福祉について

問 重症心身障害児者は

県内、志太榛原圏域、

町内には何人か。

答 県内では2439

人、志太榛原圏域は267

人、町内では14人であ

る。

問 町内の重症心身障害

児者が利用できる通所

先や日中活動場所の利

用状況は。

答 町内や近隣市町の生

活介護事業所や日中一時支援の事業所、放課

後等デイサービスの事

業所である。多くの方

が町外の施設を利用し

ている。

問 重症心身障害児者が

利用可能なショートス

テイ施設の数。

答 町内にはない。藤枝

市に2カ所、焼津市に

1カ所、静岡市に4カ

所ある。本年7月に榛

原総合病院の地域包括

ケア病棟に短期入院が

可能となった。

問 重症心身障害児者が

利用する施設のサービ

スにおける問題や課題

は。

答 町内に医療的ケアが

必要な障害児者が利用

できる施設がない。志

太榛原圏域においては

利用希望者の人数に対

して施設の数が少ない

く、十分に対応しきれ

ていない状況である。

問 志太榛原圏域に重症

心身障害児者のための

入所施設やショートス

テイの拡充の必要性に

ついて町の考えは。

答 当事者団体、障害者

福祉施設、医療機関、

教育機関、行政の代表

者が構成される「志太

榛原地域自立支援推進

会議」を設置している。

利用できる事業所の

不足は広域的課題と捉

えている。利用者の

ニーズに合った福祉

サービスが提供される

よう市町の枠を超えて

協議している。

大幡川幹線の道路改良事業について

問 道路の計画線につい

て、問題となったこと

は。また変更は。

答 計画線上に大幡神社

が建造されており、境

内に町指定文化財があ

る。その移転などの取



大幡神社前付近

あった。都市計画決定

された計画線は変更せ

ず、神社を避ける形で

計画線から外れる区間

を暫定整備区間として

位置付けた。

問 道路の交通安全対策

については。

答 交差点の安全面につ

いては県と協議をして

いく。

町政を問う

question

問

中学校部活動の地域移行はいつからか

answer

答

令和8年度から休日の移行を目標に

以前から、「中学校運動部活動の地域スポーツクラブへの移行」について、耳にする事がよくあった。

すでに取り組んでいる自治体もあることから、当町の現状を知るために質問した。

問 全国的に少子化が進むなか、部員不足が問題になっているが当町ではどうか。

答 吉田中学校の生徒数は、平成15年度918人、平成25年度は895人、本年度は78人と年々減少傾向にある。令和3年度から部活動への参加を完全自由加入制とした結果、部活動加入率が、令和3年度、83・2%、令和5年度、76・3%と減少。部員数が不足する部も出てきている状況であった。23あった部活動を20

に削減した。家庭部、園芸部、なぎなた部を廃部にし、来年度以降、弓道部と水泳部が廃部予定である。

問 運動部活動の地域移行のメリットは。

答 これまで運動部活動が有していた大きな役割や教育的意義を持続することや将来にわたる子どもたちが、スポーツに継続して楽しむことができる機会を確保することが可能となること。さらには、学校教育の質の向上につな

がることが挙げられる。

問 地域スポーツクラブを支える人材の確保と育成についてどのようなことを考えるか。

答 本年度から、「吉田町部活動の在り方協議会」を設置、6月に第1回目の協議会を開催し、各種目における指導者の確保と育成について課題が出された。今後協議会でさらに議論を重ね、吉田中学校の部活動の方向性を定めていきたいと考えている。

問 教員の働き方改革としてどう考えるか。

答 学校単位から地域単位での活動に変えていくことにより学校における教師の業務負担を軽減し、学校教育の質の向上につながっていくと考える。

問 学校教育の質の向上とはどのようなことか。

答 授業の準備時間がしっかりと取れることから授業の質が向上すると考える。

めていきたいと考えている。

問 地域スポーツクラブとして、活動費や各種大会への参加費などにおいて、補助金などはどう考えるか。

答 国の動向を注視するとともに「吉田町部活動の在り方協議会」で方向性を定めていく。

問 地域スポーツクラブとして、活動する場所についてどう考えるか。

答 「吉田町部活動の在り方協議会」を中心に議論を重ね方向性を定

めていきたいと考えている。



吉田中学校弓道場



さかえ 議員
ぎ 八
や

総務文教常任委員会報告

調査事項

地域教育推進事業について

町が行う8つの事業名

地域教育推進事業	放課後子ども教室推進事業	家庭教育学級事業
学校外活動推進事業	青少年野外活動事業	地域学校協働本部事業
チャレンジ教室事業	チャレンジ！サマーステイ事業	

7月6日
生涯学習課が所管する事業について、事業ごとの内容・規模や実績について説明を受けた。

7月26日
担当課の説明に対しさらなる詳細把握のため、各委員からの質問事項と質問内容の確認などのとりまとめを行った。(質問は8月上旬に担当課へ提出。)
事業要綱・補助要綱などの提出を求めた。



生涯学習課から提出・説明を受けた資料



委員会風景

9月20日
担当課から、提出した質問事項について回答を得た。回答に対する再質問を実施し、今後の調査の進め方について協議した。
今後、各事業に対する課題点・改善点を協議し、放課後子ども教室の現場視察なども依頼することとし、議会閉会中の継続調査とした。

委員長 盛 純一郎

産業建設常任委員会報告

調査事項

空き家等対策の推進について

7月10日
「空き家等対策の推進について」当局への説明依頼事項を協議した。
基本計画の進捗状況について

・空き家バンク制度について
・空き家等対策連絡会議について
・空き家等対策の現状について

8月18日
担当課から説明を受けた。

・空き家等対策の推進に関する特別措置法について
・空き家の定義と空家バンク制度とは
・空き家等連絡会議についての内容と実績は
・空き家等対策の現状について、空き家等活用促進区域と町の取り組みは
今後の調査の進め方について協議した。

9月13日
再質問および意見について協議し、以下の再質問が決定された。



委員会風景

・空き家対策委員会の設置目的とスケジュールおよび目標は
・民間の力を取り入れていく考えおよび具体的な方法は
・空き家バンク制度の条件について詳細な説明を求める
・移任・定住以外に町が考えていることは
・空き家57件の詳細内容は
現状で空き家に対する苦情はあるか

委員長 山内 均

令和5年度議会改革の目標を以下のように決めました

町民意見の反映

- ・ 町民の多様で幅広い年齢層の意見を把握するための方法を検討し、実施する。
- ・ 町民意見の中で、議会として共有化すべき意見を議論する場を開設する。

議会審議の充実

- ・ より良い議案審議が行われるよう、審議の方法を検討し、実施する。

ICT活用の推進

- ・ 議会運営及び議案審議を効率化するためにICTの活用を検討し、実行する。

議会報告会 開催します

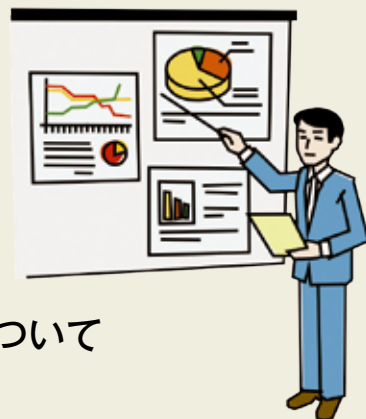
日程	：	10月16日（月）	住吉会館	19時～20時30分
		10月17日（火）	川尻会館	19時～20時30分
		10月26日（木）	片岡会館	19時～20時30分
		10月27日（金）	北区自彊館	19時～20時30分

内容 ； （報告：全員に向けて）

- ① 令和4年度一般会計歳入歳出決算の質疑
- ② 総務文教常任委員会活動報告
- ③ 産業建設常任委員会活動報告
- ④ 議会の仕組み説明

（意見交換：4つのグループに分けて）

- ① 報告に関する質問、意見など
- ② 令和5年町議会議員選挙の無投票について



※ 4グループに分かれての意見交換を実施します。

開催場所にこだわらず、都合の良い日に参加してください。

多くの皆さんの参加、きたんのないご意見をお待ちしています。

第4回定例会（12月）のご案内

令和5年第4回吉田町議会定例会は12月1日（金）から開催予定です。

傍聴はどなたでもできます。当日に4階議会事務局で受付を済ましてから5階傍聴席にご入場ください。お待ちしております。

問い合わせ先 議会事務局 33-2141

まちの話題



6月25日、第1回中西部地区空手道大会を体育センターにて開催。日頃の練習の成果を発揮しました。



7月16日、八幡津島神社夏季例大祭を開催。川尻地区を山車が練り回りました。



8月19日、千日堂広場にて住吉地区盆踊り大会を開催。会場は大勢の方でにぎわいました。



7月30日、総合体育館にて社会教育フェスティバルを開催。地域団体のブースを子どもたちが楽しみました。



9月17日、浄土寺にて10年ぶりに「白衣観世音菩薩御開帳」。地元の方々に盛大に行われました。



9月3日、地域防災訓練を実施。コーンをめがけての放水訓練が注目されました。

議会広報特別委員会

委員長 楠元由美子 副委員長 平野 積
委員 大石 裕之 増田 伸介 福世 義己 三輪美由紀 増田 剛士